

民進 細野代表代行が辞任

離党は否定 「保守系」から不満また

民進党の細野豪志代表代行は13日、国会内で野田佳彦幹事長と会い、代表代行の辞表を提出した。辞任の理由について、細野氏は執行部との憲法に対する考え方の違いを挙げ、離党は否定した。党内では、長島昭久衆院議員が共産党との選挙協力を理由に離党届を出したばかり。東京都議選（7月2日投票）を前に党勢低迷が続くなか、保守系議員の不満が噴出している。【樋口淳也、真野敏幸】

細野氏は辞表提出後、国会内で記者団に「執行部の一員として、これ以上憲法について発言し続けるのは、党の体制としてふさわしくない」と判断した」と語った。

細野氏は10日発売の月刊誌で、教育無償化

などを盛り込んだ自らの憲法改正私案を公表。ただ、蓮舫代表は3月の党大会で憲法改正による教育無償化には否定的な見解を示していた。細野氏はこの頃から辞任を考えていたとい、「民進党らしい憲法改正案を出す

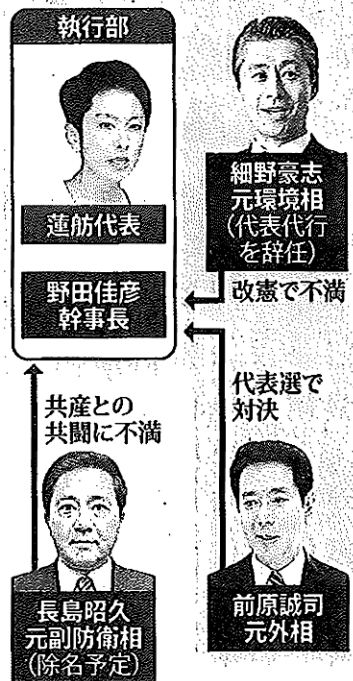
こと、提案型政党としては極めて重要なことだと考えてきたが、今の民進党の執行体制は改正に消極的だ」と指摘した。都議選を目前に控え、「離党ドミノ」に歯止めがかからない中で、旧民主党時代から

続く「バラバラ感」を露呈した形にもなった。党内からは「なぜ今のタイミングなのか」といぶかる声が上がっている。都議選後の「蓮舫降ろし」を見越して執行部から離れ、フリーハンドを確保するためとの見方もある。

細野氏は辞表提出に先立ち、自身の派閥会合で説明したが、異論が相次いだ。蓮舫代表は13日の記者会見で「同時期にちぐはぐ感を見せたくない、支援者には大変申し訳ない」と陳謝。国会議員の一人は「細野氏は代

表選で蓮舫氏を支持し、派閥の長でもある。軽い理由で心変わりするのは無責任だ」と指摘した。細野氏を巡っては、6月に予定されている地元・静岡県知事選への出馬も取りざたされている。細野氏は10日に川勝平太知事と会談。現在2期目の川勝氏は進退を表明しておらず、細野氏は記者団に「川勝知事に出ていただきたい。それ以外ない」と強調した。一方で、前原誠司元

揺らぐ蓮舫体制と保守系議員の関係



細野豪志元環境相 (代表代行を辞任)

改憲で不満

代表選で対決



前原誠司元外相



蓮舫代表



野田佳彦幹事長



長島昭久元副防衛相 (除名予定)

共産との共闘に不満